

2023 年度 個人研究実績・成果報告書

2024 年 4 月 23 日

所属	商経学部	職名	准教授	氏 名	根岸亮平
研究課題	金融商品に係る減損会計の研究—新型コロナウイルス感染症による影響の検討—				
研究キーワード	会計、金融商品、減損、金融危機、新型コロナウイルス感染症	当年度計画に対する達成度	3.概ね順調に研究が進展し、一定の成果を達成したが、一部に遅れ等が発生した		
関連するSDGs項目	9. 産業と技術革新の基盤をつくろう	該当なし	該当なし	該当なし	
1. 研究成果の概要 本年度の研究成果の概要は、下記のとおりである。 本年度は、予想損失モデルの適用開始に伴う企業業績への影響を分析するために、わが国における新たな会計基準に向けた予想信用損失についての議論について整理を行った。 予想損失モデルは、信用損失引当金のプロシクリカリティを低下させ、将来の銀行リスクをより予測可能性を高めることが示されているが、一方で当初期待されたほどプロシクリカリティを低下させているわけではない可能性があることが示唆されている。 そこで本研究では、わが国における金融商品に係る減損モデルに関する研究のレビューを行い、わが国における最適な減損も出るについて検討することにより、今後の研究上の課題と展望について考察した。 2. 著書・論文・学会発表等 （できるだけご記入ください。査読の有無及び海外研究機関等の研究者との国際共著論文がある場合は必ず記載） 【論文（査読あり）】 特になし 【著書・論文（査読なし）】 特になし 【学会発表等】 「わが国における予想損失モデルに関する考察」ディスクロージャー研究会（9月10日@武蔵大学） 3. 主な経費 研究報告のため、主にソフトや書籍の購入・データベース作成の謝礼に使用した。 4. その他の特筆すべき事項（表彰、研究資金の受入状況等） 特になし (本文は2ページ以内にまとめること)					